

マーサメリー通信

September 2018 Vol.6

発行:マーサメリー 編集人 安武真佐子 URL masmary.com

ソラノモリ第三章～蒼穹への帰還～

楯 直己 (voice・空間音楽) ソロライブ with 安藤康弘 (詩人)



空間音楽家 楯 直己さんが
詩人の安藤康弘さんと北海道の森を
旅したことから始まった作品 ソラノ
モリ 様々な楽器を駆使し自ら歌い
奏する曲は 時に大地の響きであり
時に空の声のように心に届きます



特別な音響システムにより 音に包
まれながら間近で観るソラノモリ第
三章 今回は 森羅万象 を音楽と
詩で表現する作品を作られました

九月二十一日 金曜日 六時開場
七時半 開演 予約四千元 税別



会場:ノヴェンバー イレブンス

港区赤坂 3-17-8 都ビル 2F

千代田線赤坂駅 1 番出口

丸ノ内線・銀座線 赤坂見附駅 10 番出口

一ツ木通り沿い、ホテル VISTA 目の前

入り口は少し奥まった階段を上った2階

電話予約: 1 時~6 時(月曜定休)

TEL: 03-3588-8104

時間を問わずいつでもメール → マーサメリー
info@masmary.com

◆予約なしでのご来場は当日券 4500 円となります



マーサメリー(MM): ソラノモリ 3部作の第三章。タイトルは「蒼穹への帰還」ですが、青空ではなく、蒼穹という漢字を選ばれた理由は何でしょうか。

Tate: よく晴れた日の、特に夕暮れ時に空をじっと眺めていると、様々な光がグラデーションのように見え、その向こうに光とも闇ともつかない「広がり」が感じられる事があります。それは宇宙の色を垣間見ているのだと思います。そんな広がりの色も込めて、蒼穹としました。もし、縦方向に空に向かってクルマを走らせる事ができたなら、時速100キロで飛ばしてわずか1時間足らずで宇宙に到達するんです。東京から東名で御殿場アウトレットに行くくらい。割りと近いですね(笑)

MM: 第三章に込めた思いは?

Tate: 安藤さんと北海道の森を旅したことからはまったインスピレーションは、自然の巡り、時空間と人の巡りという広がりが生まれ、今回はより森羅万象に目が向いています。

人間の行いもまた、森羅万象の営みのひとつです。僕らの日々も含めて。そんな「今」に光を当てられたらと思っています。

たとえ不安定化している世界の中でも、何が起きているかが見えてくると不安も減り、落ち着いていられるのではないのでしょうか。心に光が見えたら、元気になれるかなって。

MM: 東京の郊外でさえ、節度のない家が建つようになり、今まで感じていた空が見えなくなる現象が起きています。空は私達に何を語りたいと思いますか?

Tate: 空が語るっていうの面白いですね。本来は無関心なのだろうけど、星新一さんのショートショートとかだったら、ありそうな展開ですね。ある日、世界中の空が喋り出し「ちょっとお～あんたたち何やってんのよお～」とかオネエ言葉でいちいち文句を言い始める。信心深い人間は神の言葉として受け取り行動を改め、一部でパラダイムシフトが起きる。一部の学者は空を黙らせる研究に没頭する。そしてある人々は自由の名の下に空に戦いを挑む。戦闘機がスクランブル発進し、ありったけのミサイルが発射される。そして…

MM: 昨今、空がだんだん狭くなっているように思います。楯さんの空への思いとは?

Tate: 都市部への一極集中ですね。次から次へと建物ができていき、反対に地方の過疎化も進んでいます。人間社会の経済的活動…ある意味では資本主義の悲鳴のようにも感じます。進歩して来た人類は空を目指し、埋め尽くし、いつ

かはわかりませんがそれも持続できなくなり…宇宙へ移住するのでしょうか?

そんな人類の狂想曲を、批判するでもなく、応援するでもなく、ただそこに在り続ける空。恐竜の時代も、未来の誰かの時代も、どこかの星の地上からでも、見上げればそこにある空。そこから来て、そこに帰ると言えるかもしれません。僕にとって、空は不変…天文学的に見れば不変ではないですが、「永遠」、そんな感じですよ。

MM: チラシのイラストは、何を表しているのでしょうか。

Tate: ソラノモリというコンセプトから、最初に僕が旅して見たもの、その写真を使ってコラージュしてくださっています。海が上に、空が下にあり、ソラノモリを象徴しています。

MM: 詩人安藤康弘さんと始まったソラノモリの旅。今回は到達点でもあり、新しい旅の始まりでもあるとおっしゃっています。見どころを少しで良いので、そっと教えて下さい。

Tate: やはり安藤さんとの新作です。これを書いている今現在はまだ未完ですが、詩と空間音楽のコラボレーションとして、新たなものが生まれると確信しています。どうぞお楽しみに!

MM: では、聴きどころは?

Tate: あ、さっきのは見どころだったのか～(笑) 逆になってしまった。さっきのが聞きどころで、それぞれの方が目をつぶって心に描くイメージが見どころですね。

MM: 空を飛べるとしたら、どこに行きたいですか?

Tate: その前に高所恐怖症を克服したとして、高いところから地球と宇宙を眺めたいです。

MM: そして、何を見たい?

Tate: 何を感じるか、はたまた何が見えるか、それを見たいです。

MM: 皆さまにメッセージを!

Tate: はい、8ヶ月ぶりのソロライブです。新曲、アルバム曲、インプロビゼーション、空間音楽…イメージが心に映るままに、揺られ揺られてお楽しみいただければ幸いです。今回は、ソラノモリとして日本野鳥の会の芸術監督、詩人安藤康弘さんとコラボレーションしてきた三部作の到達点であり、新たな始まりでもあります。僕ら自身どうなっていくのか、とても楽しみです。皆様のご参加、心からお待ちしております!

Let music lighten our hearts and our mother earth!
マーサメリー